

1. 液体窒素補充※必要があれば、窒素ガス通気を行い、冷却機とDSC本体とパソコンの電源をONにする。
2. パソコンとDSCの接続を行い、使用する冷却機の校正ファイルを選択する（ABCファイル・温度学習ファイル）。測定条件をセットし、等温保持を行う。※他のデータの上書きをしないよう注意すること。
3. サンプルを調整し、炉内にサンプルをセットし（左側：基準物質、右側：試料）、等温保持が十分にできていることを確認した後（サンプル設置後約30分かかる）、DSC測定を開始する。
4. 測定終了後、DSC本体と冷却機の電源OFF、窒素ガスの元栓を締め、使用記録を記入して終了する。  
 ※冷却機の電源OFF・窒素ガスを締める際は、炉を室温に保つこと。  
 ※セルと炉の蓋の取り扱いは、ピンセットで行う。ピンセットは尖っていないものを使用すること。  
 ※霜などによってDSC本体に水分が付着することを極力避けること。  
 ※取り扱いの詳細は手順書を参照すること。不明な点はすぐに担当まで連絡すること。

冷却の仕方でDSC挙動異なる（熱履歴）  
2nd heatingを観察する（冷却条件既知の試料にする）

